

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-412
研究課題名 肝胆膵腫瘍性疾患における BAP1 発現と臨床予後の関連
研究期間 西暦 2014 年 10 月（倫理委員会承認後）～2016 年 3 月
対象材料 ■病理材料（対象臓器名 肝臓、胆道、膵臓 ） □生検材料（対象臓器名 ） □血液材料 □遊離細胞 ■その他（カルテ情報 ）
上記材料の採取期間 西暦 1999 年 1 月～2014 年 9 月
意義、目的 近年、眼内黒色腫、悪性中皮腫、腎細胞癌、胆管癌においては高頻度に変異・欠失が報告されている BRCA 関連蛋白 1 (BAP1) という遺伝子があるが、臨床的な意義を検討した研究は少なく、肝胆膵領域におけるものはまだない。BAP1 発現とその臨床への関与を解明することは、予後予測や抗がん剤選択など個別化医療を行う根拠となりえ、また新たな抗がん剤開発の可能性を有するため、今回胆管癌の BAP1 発現と臨床データとの関連を検討する研究を計画した。
方法 東北大学病院旧第一外科、現肝胆膵外科・胃腸外科において 1999 年 1 月～2014 年 9 月までの期間に、肝胆膵領域の腫瘍性疾患に対し、手術による切除術が施行され、病理検査のためにブロック化され保存されている標本に対し、BAP1 の免疫染色を行い、発現状態を判定する。同時にカルテ情報を収集し、BAP1 発現と生命予後や抗がん剤感受性などの臨床データと BAP1 発現を比較することで BAP1 発現の臨床的意義を検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院 肝胆膵外科・胃腸外科 石田晶玄 電話：022-717-7740